

鴨川市江見3地区学校施設等統合整備検討委員会第8回会議の概要について

議事（1）通学・通園について

第7回会議で今後、通学・通園について検討していくための資料として追加配付した2つの資料について、事務局から内容を説明した。資料の内容としては、1つは、これまでに配付したバス停別の乗車見込み数や横断歩道等の位置などのバス通学に関する資料を図面にまとめたものであり、もう1つは通学・通園に関して各地区から質問、要望のあった事項について、事務局で調べた現時点での状況をまとめたものである。

事務局からの説明に対して、各委員から質問や各地区からの新たな要望等について以下のとおり意見が寄せられた。

委員からの意見・質問等について

- ・ 例えば江見合戸のバス停は山側に歩道がなく、そこでは車道と擁壁の間のわずかな路側帯で児童がバスを待機することとなる。そのような場所で児童が待機するのは危険であり、ほかにも同じようなバス停があるかもしれない。そうした状況を心配した保護者から出てきた案として、以前農協のガソリンスタンドであった場所が現在空き地となっているが、そういう場所を市が借り上げて、バスの発着所として整備し、その場所まで子ども達に来てもらい、そこからバスに乗っていく形にした方が安全なのではないかと、そうした意見を複数の方から聞いているので、検討していただきたい。

また、迎えに来る保護者が待ってられるような駐車場を併せて整備できれば、江見小学校までバスが来てくれることを望んでいた北区の方々の要望への解決策にもなる。しかも、隣の江見保育園が今回の統合により空き施設となるので、施設を一部開放していただければ、子ども達が親が迎えに来るまでの時間を、その場所で安全に過ごすこともできるのではないかと思う。

- ・ バスがUターンして帰路になってからの下車や、往路、復路どちらからも乗り降りできるように認めるなど、時間がかかっても良いので、道路横断をしないで通学バスの乗り降りができる方法を考えてほしい。
- ・ 陸上や体操の朝練習、夏休みのプール開放、長期休業中の補習など、そういった期間にもスクールバスは出してもらえるのか。
- ・ 全員がバス通学となるのか、徒歩通学の範囲はどこまでして良いものなのか早めに示してほしい。
- ・ 登校、下校ともに2便ぐらいを想定しているとの説明であるが、陸上や体操の練習が始まると帰りの便が3便必要になることが想定されるので、対応してほしい。
- ・ 江見地区、太海地区をいっしょにした通学バスを出す予定なのか、それとも江見地区だけ、太海地区だけと地区ごとに車両を出す予定なのか。また、1車両あたり何人ぐらいの乗車を見込んでいるのか。100人ぐらいの子ども達がいるので、1車両あたりの人数がギュウギュウ詰めになるのではないか。
- ・ 小学校の通学バスが大型バスとなると、国道しか通れないのはしかたないが、せめて幼稚園の通園バスは小型バスで江見地区の旧道を通るように検討してほしい。

- ・ 太海地区は公民館の側を通る国道ルートと市街地の県道を通るルートがあるが、どのように考えているか。また、長狭学園の例では、小学校に早い時間に登校して友達と遊びたがる子ども達が多かったので、乗車する子どもが早便に集中していた。そのような偏りがある車中では、下の学年の子に席を譲り合うことも困難であり、また、太海地区の子ども達が座ることは難しいと思われるので、配慮をお願いしたい。
- ・ 江見地区ではスクールバスを旧道に通してほしいと要望していたが、小学校の通学バスは国道しか通らないと考えて良いのか。それともまだ旧道も検討しているのか。
- ・ 曾呂地区の子ども達は、交通量が少ないので車の危険性をあまり感じていないため、バスから降りると、すぐに車道を渡ってしまう子が多いと思う。添乗員を付けてその辺の危険がないように対応してほしい。
- ・ 病気の際の対応として、保護者が迎えに来ていただくことを原則としていると説明があったが、インフルエンザ等が発症した場合、中学校では実際にどのように対応しているのか。
- ・ 統合小学校に下の県道から上がっていく進入路が狭いので、道路脇のU字溝に蓋を付けて広げてほしい。また、学校で火災等が発生し、グラウンドに避難した場合、出口がバスロータリーの方向に向かっていくしかないため、グラウンドから下の県道に向かって降りていく斜面に階段のような経路を整備する要望が出ていたが、まだ図面に反映されていないので対応をお願いしたい。
- ・ 今、中学のスクールバスは路線バスのバス停に停車しているが、通学バス用のバス停は位置を変更しても良いのか。江見中原バス停や江見合戸バス停は狭い場所にあるので、少し移動して広い場所で乗降することはできるのか。

以上の質問、要望等があり、事務局で回答可能なものは回答したが、継続して協議が必要なものについては、取りまとめて次年度の検討委員会に引き継ぐことを説明した。

議事（２）その他

学校統合準備委員会の進捗状況について、各部門を担当している3小学校の校長先生から担当部門ごとに説明が行われた。

その他、事務局から来年度の委員継続の可否について4月に確認を行うこと、次回会議を5月後半に予定していることを説明した。